

BS-3 透視台

診察用X線透視台

Diagnostic Table

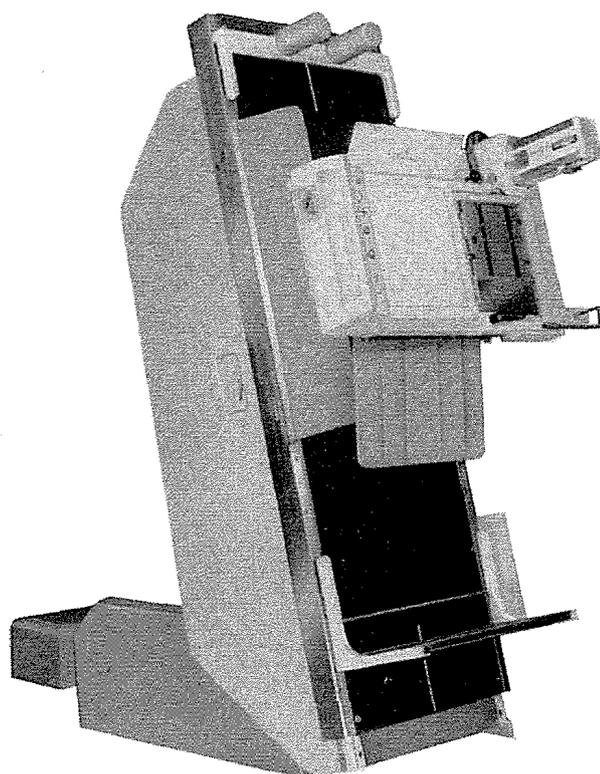
用途

この装置は、診察用X線高電圧装置およびX線管装置と組み合わせて使用するX線透視台で、つぎの用途に適します。

1. 透視診察
2. 速写撮影

特長

1. ケイ光板部はB形速写装置-2が装備されており、第1表に示す速写撮影を行なうことができます。
2. 5種類のサイズによる速写撮影は、いずれ分も割わくや補助わくを使用せずに、取りわく移動台を撮影位置に引き入れるだけで全面撮影より4分割撮影まで自動的に行なうことができます。(実用新案出願中)
3. 取りわくの装てんが暗室内でも簡単に行なえます。
4. 速写撮影の場合 取りわく移動台の移動と連動してケイ光板部の上下、左右、前後動のブレーキが働くようになっているため 機械的ブレのない良い写真がとれます。
5. 透視台の操作スイッチ類は ケイ光板の左側に合理的に配置し 左手でケイ光板移動用ハンドルを握ったままで操作ができます。
6. 分割マスク板 および圧迫筒はケイ光板側より出し入れができます。
7. 防護前垂れは5枚あわせで幅が広く水平位においては取りはずすことなくケイ光板の左側にスライドさせることができます。(実用新案492501)
8. 速写撮影および透視条件を透視台側でコントロールできる付加装置を組み合わすことができます。
9. ケイ光板部の上下、左右、前後、の動きに対してはいかなる状態においても円滑な操作が行なえます。
10. ケイ光板部の動きに対しては電磁ロックの使用により不快な金属音を発することなく瞬時に確実に固定できます。(特許212164)
11. ケイ光板部の操作スイッチ類の表示は自発光性ケイ光塗料をもちいておりますので 暗室内でも良く見え誤操作の心配がありません。
12. 透視板のスライドと傾斜はモータ駆動方式で 水平位置で透視板を下方にスライドさせたまま起動を行なっても途中で停止することなく透視板を自動的に上方に移動しつつ立位まで起動をつづけます。(実用新案552972)



第1図 B-3透視台全景

また 防護机などに透視板下方が接触した場合はただちに起動を停止する安全装置が設けられています。

13. 透視板の水平時の床面よりの高さが低く、とくに水平位置での診察には操作がおこないやすく、患者の乗り降りにも便利です。
14. 支持脚は透視板の外側に出ていないので水平位置の診断時に安心して患者に接近できます。また側板防護板もじゅうぶん大きなものを使用していますので散乱線防護は完全です。
15. 電動式多重シャッタの使用によりよいX線像を得ることができます。絞りの開閉はケイ光板部にある1個のスイッチハンドルにより正確に行なえます

仕様

1. 電源 単相 100V 50, 60%
2. 速写撮影の種類

第 1 表

10×12 取りわく (4ツ切り判)	タ	テ	各1枚写し
	タ	テ	2分割2枚写し
8×10 取りわく (6ツ切り判)	ヨ	コ	各1枚写し
	ヨ	コ	2分割2枚写し
	ヨ	コ	4分割4枚写し

3. 鉛ガラスの大キサと鉛当量およびケイ光板
角形鉛ガラス: 360×360mm 4種 1.5mmpb